

扶川あつし県議 議員1年生ですが、皆さんの運動や世論と連携して、いろんな成果が生まれました。



日本共産党と県民ネット共同で作成した刑事確定記録の報告集を手に、あるべき入札制度改革の姿を論じる。

私のお約束 どんな県政をめざすか

私は、国政も県政も税金を使う優先順位が間違っていると思います。

高齢者が増えれば、医療・福祉・年金などに手厚く配分して当然です。障害者福祉は、普通の生活を保障するだけ。「受益」ではありません。

これらの予算を削る政治は、人間を粗末にする政治です。

一方、たとえば徳島県でも、あわてない鉄道高架に500億円も使います。流域下水道は2200億円かけますが、

合併処理浄化槽でやれば、全戸無料で設置しても600億円で十分。こんな浪費を無くせばお金はあります。

同じ公共事業でも、防災対策や住宅建設など、切実な上、地元中小業者の仕事も増える分野に力を入れるべきです。

数々の汚職事件にみるように、政治がゆがむ根本に「**政治官財癒着**」の構造があります。

徳島県は、一民間化製業者に毎年3億円補助しています。全国にも例がありません。飯泉県政にもゆがみがあります。

汚いお金と無縁でこそ、誰にも遠慮なくものが言えます。長い目で見れば、必ず正論が通ります。そんな信念のもと、所属委員会では毎回、制限時間いっぱい発言してきました。

「**清潔さは改革の力**」です。無駄を無くし、県民の暮らしと安全を本気で守る県政をめざし、全力でがんばります。

政治浄化と議会改革を促進



談合根絶学習会を主催。



委員会視察改善と不祥事の調査を議長に要請。

- 東京地検から汚職事件の刑事確定記録を入手。汚職・談合根絶へ、調査団提言による改革を要求。
- 一般競争入札の拡大、公益通報窓口の弁護士への委託、天下りの一部規制等、一定の改善を実現。
- 県警捜査報償費問題を追及。予算が激減する。
- 県議会倫理条例や議員歳費の5%カットを提案。(自民党派等が否決)
- 視察の改善を提言。

無駄遣いを徹底批判



飯泉知事(左端)に毎年予算要望を提出。



鉄道高架事業の中止を求める住民とともに、徳島市へ申し入れ。

- 無駄をなくし、くらしや防災の予算を充実せよと毎年知事へ要望。
- 入札談合防止へ徹底議論。落札率低下による節減は2000年との比較で年間40億円以上に。
- 鉄道高架事業に反対。二軒屋駅東側住民の反対運動を支援。
- 流域下水道から合併槽へ汚水処理方式を見直せと運動。見直しへ動く自治体も生まれる。

住民の負担軽減求める



毎年重税反対集会参加。



負担増に苦しむ高齢者の負担軽減求め県交渉。

- 消費税増税をはじめ庶民増税に反対し、徳島建労や民商など各団体と共闘。
- 特に高齢者は、住民税増税に国保税や介護保険料値上げが連動して急激な負担増に…。県独自の負担軽減の制度をつくるよう要求しました。
- 滞納整理機構による徴収が人権侵害にならないように指摘。

福祉施策充実へ努力



障害者の作業所を視察。



長野県下條村の少子化対策を勉強する視察。

- 障害者「自立」支援法は、障害者の負担を増やす悪法です。県単独でも、障害者の負担を軽減し作業所を支援する制度を作れと要求しました。
- 少子化対策の鍵は、青年の結婚と子育ての支援です。ずっと求めてきた乳幼児医療費の無料化拡大は一定前進。さらに小学校卒業まで要求中。

青年労働者の正規雇用増へ



藍住町の光洋シーリングテクノ社間取り調査。



徳島労連で激励の挨拶。

- 青年の非正規雇用化が少子化の主因です。藍住町光洋シーリングテクノ社における偽装請負問題で、県にたいし、会社へ正規雇用を要請すべきだと要求しました。
- 青年達の闘いの結果、全国を励ます一部直接雇用が実現。
- 建設労働者の賃金を確保する公契約条例制定を求めました。

台風・地震対策で奔走・実現



木沢村の台風被災地で。



防災委員会では津波や住宅耐震化対策を議論。

- 県下全域で台風被害を視察し国に陳情。
- 県単住宅再建支援制度の床上浸水被害者への適用求め奔走。
- 公共事業削減の中、県単急傾斜地対策の増額を主張。前年並み予算が確保される。
- 要望を受けた対策工事も各地で実現。
- 「地震対策行動計画」の策定を早くから提言しその後実現。

各地の環境問題を追及・是正



北島町東邦テナックス汚泥の問題を追及。



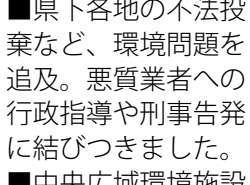
徳島市上八万町など県下各地の産廃問題追及。



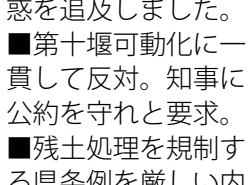
剣山で鹿の食害を調査。



板野・鳴門境の乱開発問題で住民運動を支援。



■中央広域環境施設組合の地元対策費疑惑を追及しました。



■第十堰可動化に一貫して反対。知事に公約を守れと要求。

■残土処理を規制する県条例を厳しい内容にさせました。

イラク撤兵 憲法9条守る運動



自衛隊のイラク撤退を求める運動に参加。憲法9条の会世話人。



米軍機低空飛行や松茂への緊急着陸を糾弾。

私達も扶川さんに期待しています。

板野郡建設労働者後援会

会長 黒瀬 昭

徳島労連事務局長

森口 英昭

徳島県民医連党後援会

会長 児嶋 誠一

徳島県商工団体連合会

事務局長 山本 泰夫

徳島県生活と健康を守る会

事務局長 竹田 節夫

新日本婦人の会県本部

会長 中嶋 蓉子

元衆議院議員

春名なおあき

上板町議会議員

柏木 みちよ

板野町議会議員

石田 実

天羽 生美

藍住町議会議員

林 茂

北島町議会議員

増谷さだゆき

佐藤 英雄

松茂町議会議員

佐竹 嘉治

松茂町党副支部長

上田 誠

扶川教後援会事務所
〒779-0108
板野町犬伏字大坪78-1
tel 088-672-5875
fax 088-672-5877